

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2014-07-01

No. 55



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 電気自動車 (EV) の直流急速充電に関する 2 つの IEC 規格、発行	3
IEC: 新規格リスト	5
ISO: 新規格リスト	7
国際テーマ: UNECE: EU: 最新報告書: 車両規制の整合化に対する世界フォーラム	8
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	9

USA: FCC: KDB: レーダー検波及び DFS 機能具備 5470-5725 MHz 帯 UNII デバイス	11
USA: FCC: 3.5 GHz 帯新市民ブロードバンド無線サービス確立、コメント募集	11
USA: OSHA: 国家認定試験機関 (NRTL) プログラム改善計画	12
USA: DOE: EPA: 衣類乾燥機、エネルギースタープログラムに追加	13
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	14
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	15
USA: IEEE: 新規格リスト	16
カナダ: 官報通知 SMSE-013-14: SRSP-101, 版 1, CPC-2-6-01, 版 4 (暫定的) 等の発行	17

EU: 新無線機器指令 2014/53/EU 発行、新法制枠組みに調整: 主要内容解説	18
EU: 欧州委員会と韓国間の 5G モバイル技術に関する画期的協定	28
EU: 電源トランス: エコデザイン指令の実施規制 (EU) No 548/2014、発行	28
EU: CENELEC: 整合規格リスト 公表: 低電圧指令、医療機器指令、機械指令等	29
EU: CENELEC: 新規格リスト	30
EU: ETSI: 新規格リスト	34

中国: CNCA: 国家情報安全製品認証についての認証根拠規格の一部変更に関する公告 ..	35
中国: CQC: 低電圧セットスイッチ設備製品 新版強制認証規格 GB 7251.12-2013 施行	35
中国: CQC: PV コンバイナ設備任意認証の新版規格の施行及び規則改訂に係わる通知 ...	36
中国: CQC: 整流子安全認証規則の改定に関する通知	36
中国: CQC: アーク溶接機、ワイヤ送給装置等製品の強制的認証新版規格の実施	36
中国: CQC: 冷蔵庫性能評価業務を開始する通知	37
中国: 新規格リスト	37
台湾: 新規格リスト	39

総務省: 特性試験: 次世代高速無線 LAN システムの試験方法の追加等、意見募集	40
総務省: 端末機器の技術基準適合認定等に関する規則の一部を改正する省令案 意見募集40	
総務省: 端末機器の識別符号の条件等に係る告示の一部改正案に対する意見募集	41
総務省: 電波法施行規則の一部を改正する省令案等に係る意見募集	41
総務省: 「電波の生体への影響に関する中間報告書ワーキンググループ」第 1 回会議 ...	42
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正	43
経済産業省: 電気用品安全法にかかる届出様式を、一覧の形で掲載	44
厚生労働省: 薬事法医薬品医療機器等法: QMS 定期調査の取扱いについて	44

コスモス・コーポレーションからのご案内: 試験設備のご案内 (塩水噴霧)	10
ちょっといっぷく: 小クイズコーナー 小クイズコーナー 新無線機器指令について	17
社長の独り言	45

IEC: 電気自動車 (EV) の直流急速充電に関する 2 つの IEC 規格 発行

- 電気自動車 (EV) の直流(DC)急速充電に関する 2 つの IEC 規格が発行された。これにより、EV の急速充電のインフラ整備がなお一層促進されるであろう。
- EV の直流急速充電システムの IEC 国際規格は、3 つの望ましいシステムおよびそれらの関連するプラグおよびコネクタから構成されている。すなわち、CATARC、COMBO1 及び 2、及び CHAdeMO である。

USA: FCC: KDB: レーダー検波及び DFS 機能具備 5470-5725 MHz 帯 UNII デバイス

- 連邦通信委員会工学技術局は、レーダー検波及び DFS 機能を備え、5470-5725 MHz 帯で稼動する UNII デバイス認可に関する委員会の暫定計画を、公開した。

USA: OSHA: 国家認定試験機関 (NRTL) プログラム改善計画

- 米国職業安全衛生局 (OSHA) は、国家認定試験機関(NRTL)プログラムを更新及び近代化し、現在の需要と未来の成長に適合したものにするための複数年計画に、取り組んでいる。
- 全てのプログラム方針、指令、及び指針は、ISO/IEC 17025 及び ISO/IEC 17065 に整合している。

EU: 新無線機器指令 2014/53/EU 発行さる: 新法制枠組みに調整

新無線機器指令 2014/53/EU、2014 年 5 月 22 日発行、新法制枠組みに調整。2016 年 6 月 13 日から適用される。放送受信機は本指令の対象になり、有線式電気通信端末機器は対象から外れる。後者は、EMC 指令、低電圧指令の対象になる。

- 製造会社、輸入業者、及び流通業者に対する明確な義務事項を規定。新指令は、新法制枠組みと足並みがそろえられ、製品に対する全体の規制枠組みがさらに一貫性のあるものに、そして適用が容易になった;
 - 管轄国内当局からの要請に対して、その機器が本指令に適合していることを証明することが必要な場合、書面、又は電子形式により、文書を提供できる
- 市場監査に対する法的手段を改善: 製造会社、輸入業者、及び流通業者のトレーサビリティ義務事項を規定、及び、慢性的に適合レベルが低いカテゴリ内の無線機器について先だった登録を要求する可能性
- 新規に罰則条が規定
- 移行条項、置き換え、廃止、発効および適用に関する規定: 本指令は、2014 年 6 月 11 日から施行、2016 年 6 月 13 日から適用される。従来指令 1999/5/EC は、2016 年 6 月 13 日発効で廃止される
- 決定 768/2008/EC に規定されている適合性評価に対するモジュールを組み込み、適合性評価は提示された三種のいずれかの方法を選択する
- 不必要な管理義務事項の削除:
 - 整合化されていない周波数帯を使用する無線機器の前もっての通知要求を削除
 - 製品上に機器クラス識別子を付けるべきという義務事項を削除
 - 使用者説明書に CE マーキングを付けるべきという要求事項を削除
- ソフトウェアと無線機器の特定の組み合わせでの適合が実証された後にのみ、その無線機器と共にソフトウェアが使用できるということを、確保する

経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正

社長の独り言

2014 年 6 月 24 日

濱口 張馬

梅雨時の蒸し暑さとブラジルで開催されているサッカー観戦で寝不足の方も多いのではないのでしょうか？日本がグループ予選を突破できることを祈りつつ、原稿を執筆しております。どちらかと言えば野球派の私ですが、4 年に一度となりますと日本に勝って欲しいという思いが強くなりますね。グループ予選の最終戦は残念ながらテレビ観戦はできそうにありませんが、良いニュースがテレビを賑わすことを期待しております。

先日、NEMKO が主催する Customer Seminar 2014 に参加しました。場所はノルウェーの首都オスロの王宮近くの会場で、各国の最新規制情報や規格の動向など、3 日間の集中セミナーで多くの情報を収集することができました。今回得た情報に関しては、コスモス&NEMKO の合同セミナーとして、東京・大阪にてそれぞれセミナー開催を準備しております。準備でき次第ご案内させていただきますが、3 日間の内容をいかに、半日に凝縮するか今から頭を悩めております・・・。

毎年夏の終わりごろに開催される当セミナーですが、今年はノルウェーの白夜も楽しんで欲しいとの意向で、6 月開催となったようです。日本から参加の私としては、夜中でも明るい生活になれず、時差ボケに悩まされました。いつもはホテルで一晩寝てしまえば、意外に何とかなっていましたが、さすがに夜中まで日が出ておりますと、最初は物珍しさが勝りますが、最後はカーテンを閉めて引き籠り……。街を歩けば、綺麗に管理された公園の芝生に座り、思い思いの時間を過ごす光景や、お酒を飲みながら会話を楽しんでいる光景をよく見かけました。時間に追われる生活に慣れている方には、羨ましくもうつる光景です。NEMKO 主催のセミナーはいつもちょっとした息抜きを挟んでくれています。仮装したり、セミナー内容のクイズをしたりと・・・日本でのコスモス主催のセミナーでもやってみようかと考えています。



● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行：年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関 米州	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
欧州	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2014-07-01 (No. 55)

発行所： 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人： 濱口張馬

編集人： 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2014 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。